

# ほっとステーション

みなさんからのタイトル・情報募集！ [kawasaki@zenkouro.org](mailto:kawasaki@zenkouro.org)

全国厚生連労働  
組合連合会  
青年委員会  
台東区入谷  
1-9-5-6 階  
03-3874-3591

## K's station in 長野を松代で開催 18 県連から 178 名が参加

6 月 29 日～7 月 1 日、長野市松代において K's station in 長野を 178 名の参加で開催しました。K's station は『厚生連・協同組合の将来を担う』『全国の仲間と交流し繋がっていく』イメージで名付けられ、今回で 6 回目となります。

今回の K's station では特徴的な取り組みとして「全厚労青年委員会と長厚労青年部合同の寸劇」「平和学習となる松本大本堂の見学」「思い出を振り返るニュース作成とスライド上映」を行いました。

### 労働法題材にコミカルな寸劇披露

労働三法を題材にした全厚労青年委員会と長厚労青年部合同の寸劇を披露しました。

職場での悩みを持った青年たちが居酒屋で愚痴を語り合いながら「事務長たちに直談判だ！」と立ち上がったものの、百戦錬磨の事務長（岐阜・高木）技師長（新潟・木間）



居酒屋にて語り合う青年たちと心優しい病院長&副院長

看護部長（秋田・田中）の前になすすべなし。そこにウマ院長（長野・小笠原）とシカ副院長（長野・石井）が呼んだ正義のヒーロー労働基準法マン（アカ=大分・曾我）、労働組合法マン（アオ=福島・五十嵐）、労働関係調整法マン（ピンク=埼玉・関根）が現れて「権利があっても主張しなければ守られない！ガンバロウ！」と職場環境を変えて行く姿をコミカルに表現。出演者の熱演に笑いと拍手が起こりました。



正義の味方登場「この労組法が目に入らぬか!？」

「みんなで力を合わせて働きやすい職場をつくらう！」



「みんなで力を合わせて働きやすい職場をつくらう！」

## 地下壕の中で当時の様子に思いを馳せる



ひんやりした坑内で当時の状況に思いを馳せました。

2 日目は朝から 4 コースに分かれて学習オプションツアー。各コースは必ず松代大本営跡を訪れました。第 2 次世界大戦末期の敗戦色濃

い中、戦争を続けるために作られた地下壕の中に入って説明を受けました。日本人 3 千人のほかに、朝鮮半島から動員された 7 千人、学徒動員として初等科の生徒も掘り出された石や砂利を隠す作業を行うなど当時の様子を聞きました。コース別の行動として信州ソバのソバ打ち体験、戸隠神社参拝、ラフティング、安曇野ちひろ美術館見学などを行い、体験を通していく中で「繋がることの大切さを学んだ」「全国の仲間と団結できた」と好評でした。



みんなでソバ打ち。共通の体験を通じて団結が深まりました

## ニュース作成とスライド上映で

### 3 日間の思い出を振り返る

最終日は各班で 3 日間の思い出を振り返りながら写真を使って機関紙を作成。ニュースを作る体験と思い出を持ち帰りました。閉会式では青年委員が作ったスライドを上映し、3 日間を振り返りました。



当日上映したスライド（約 9 分）

長厚労青年部のみなさんに集会の運営でご奮闘を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。